



InDesign Version Check 使用説明

(Ver.2.4.0)

概要

本アプリケーションは、InDesign CS以降で作成された書類の、最終作成アプリケーションバージョンを調べるためのものです。

本バージョンよりInDesign 2024に対応しました。

拡張子.inddの書類をアイコンにドロップするだけで、最終保存されたInDesignのバージョンを表示します。

また、書類作成と同じバージョンのInDesignで開くことができます。

Macintosh OS X版とWindows版をご用意しています。

環境に合わせてご利用ください。

動作環境

Macintosh版 MacOS 10.10以降(Yosemite) MacOS 12.6(Monterey) 対応

Windows版 Windows 8.1以降 Windows 11 対応

読み取り可能ファイル

拡張子が.inddのみ

起動

- 本体をダブルクリックで起動すると、読み込むファイルを選択するダイアログが表示されます。
- 本体もしくはDockに登録したアイコンに、ファイルまたはInDesignファイルの入ったフォルダをドロップします。

終了

メニューバーの「InDesign Version Checkを終了」を選択してください。

または、InDesign Version Checkがアクティブな状態でMacintosh版なら⌘+Qで終了します。またWindows版は全てのウィンドウが閉じると終了いたします。

操作方法

使い方はとても簡単です。

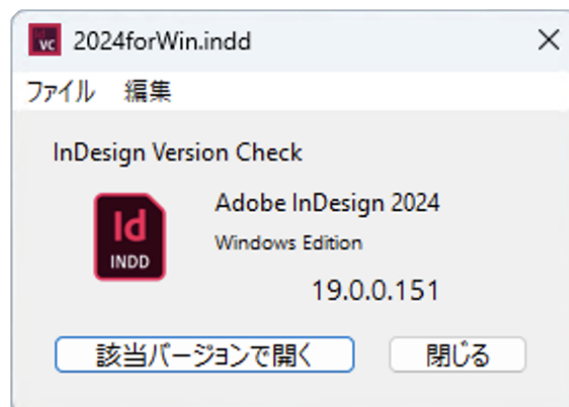
書類または書類の入ったフォルダを当アプリケーションのアイコンにドロップするだけ。

複数の書類をまとめてドロップしても全て表示します。

アプリケーションをDockに登録したり、デスクトップにエイリアス(ショートカット)を作成しておく
と便利です。



Macintosh版



Windows版

「該当バージョンで開く」を押すと書類と同じメジャーバージョンのInDesignで開きます。
書類のバージョンと同じInDesignがインストールされていない場合には、Macintosh版では別のバージョンで開くか聞いてきます。Windows版のみインストールされている最新のもので開きます。

※InDesign 2023がインストールされたWindows PCにInDesign 2024をインストールするとレジストリのCLSIDが同じもので上書きされるということが発覚しました。(2023/10/15現在)
結果、「該当バージョンで開く」で、2023と2024の書類を正しく開くことができません。
Adobeの修正を待ち対応したいと思います。なおMacintosh版ではこの現象は起きません。

その他、メニューのコピーか、Macintoshならコマンド+C、Windowsならコントロール+Cで、ウィンドウの情報をクリップボードにコピーする事ができます。ファイル名、InDesign のバージョン、Edition、サブバージョンをタブ区切りのテキストとしてコピーします。テキストエディタやExcelなどに直接ペーストして利用下さい。

詳細な使い方はホームページでご確認ください。

<https://tu-kazu.jp/dtptool/indesign-cs-version-check/>

お問い合わせは

<https://tu-kazu.jp/support/contact/>

メールでのお問い合わせ

info@tu-kazu.jp

ホームページ

<https://tu-kazu.jp>